

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ミックスペリー		公表日		令和8年 1月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動人数に合わせて適切な広さの発達支援室で行っている。	パーティション等も活用し、より細かく区切れるようにする。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人員配置を満ちし、専門職の職員も配置されている。	現状の人員が維持できるよう、努める。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		スケジュールをホワイトボードに記載して視覚化したり、室内は段差がないような設計となっている。	洗面所や活動訓練室に鏡を設置することで、自分の身体の動きを確認できるようにする	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日室内を清掃し、清潔を保っている。また、活動に合わせて部屋を変えることで過ごしやすい空間となっている。	現状が維持できるよう、日々清掃活動を実施していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室やカフェスペースは自由に入出りできるようになっており、クールダウンや余暇支援のために使用している。	パーティションや段ボールハウス等、特性に合わせて個別の空間を提供できるよう検討する。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		事業所単位で年間目標を決め、運営している。	定期的に振り返りし、見直しを実施する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員全体に共有し、業務改善できるよう話し合いを実施している。	外遊びの機会の見直しや、活動内容の周知を行う。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々ミーティングを実施し、活動や事業所内の環境について意見交換をしている。	今後も継続して意見交換を実施し業務改善に繋がってきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		定期的に他事業所を交えてミーティングを実施、評価してもらい業務改善に繋がっている。	今後も第三者による評価を実施して業務改善に努めていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		虐待防止研修、感染予防研修等、外部講師を招いての研修を毎年受講している。	ペアレントトレーニングや専門分野についての研修にも参加している。今後も継続して研修に参加していきたい。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		弊社ホームページにて公開している。	必要であれば随時更新し、周知していきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		担当相談員や保護者と面談し、児童自身の意思を尊重しながらサービス計画を作成している。	併用の事業所がある場合には、その他事業所とも情報を共有し、共有した支援を実施できるようにする。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		サービス担当者会議を実施し、児童の情報を共有し、計画書作成にあたっている。	児童の様子の変化や、成長過程を記録に残し、支援会議の際に職員に提示できるようにしていきたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員に共有し、計画に沿った支援が実施できるように努めている。	今後も計画書を共有し、職員全体で支援にあたりたい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		弊社で作ったアセスメントツールを用いて評価している。	今後も評価結果を職員にも共有し、職員全体で支援にあたりたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各項目を設定し、具体的な支援内容を記載している。また、その内容については保護者に説明し、同意を得ている。	活動内容に変化をくわえるためにも他事業所と情報共有していきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員全員で話し合いをしてプログラムを決めている。	現在、玄関に掲示をしているが、今後はHUG（オンラインシステム）に載せて保護者へ周知していく。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		5領域を意識して日または週ごとに活動プログラムを変えて固定化しないようにしている。	今後も児童の意見も取り入れ、楽しく活動できるようにしていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童の特性に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせ作成している。	サービス提供記録にも、個別活動と集団活動の細かな支援内容を記録していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝ミーティングを実施し、その日の活動内容を共有している。	支援開始前に活動のデモンストレーションを実施し、活動の主務者以外の職員も連携して対応できるようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		翌日にミーティングを開催し、支援内容や活動の情報共有を行っている。	今後も、職員間の連携を密に図り支援に活かしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		サービス提供記録に記載したり、業務日報に残している。	系列事業所とも支援内容の検証を行い、改善につなげていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者の方と面談をしてサービス計画の見直しをしている。	本事業所と他事業所を併用利用しているご家庭については、他事業所と合同で開催できるようにしていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		製作や課題、集団活動の時間と余暇時間を組み合わせながら支援を行っている。	適宜職員間で「4つの基本活動」について確認を行い、今後も継続的に支援していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動は個別に提示することで、時間やタイミングを調整したり、別の物に変更できるようになっている。	その日のスケジュールや活動等、児童が選択できる場面を設定している。今後も児童の意思決定ができる場面を増やしていきたい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と併せて保育士や理学療法士等が参画している。	今後も積極的に関係機関と連携をとれるように参画していきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関もあり、様々な分野の関係機関と連携して支援を行っている。	今後も連携を取って行けるよう、障害福祉事業所や教育機関を中心に施設見学等実施していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校から下校時刻予定表をいただいたり、保護者へ確認している。	今後も継続して連携を図っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	○	次年度は新規利用者がいないため、機会があれば実施していく。	就学後も何かあれば情報共有できるよう連絡を取っておく必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		新しい相談員や事業所へ情報共有を行っている。	積極的に情報共有できるよう、保護者の承諾を得ながら、他事業所と連携していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		発達障害者支援センター「ほっぷ」の研修に参加したり、講師としてお招きしお話を伺ったりしている。	事業所での過ごし方や職員の対応を、発達障害者支援センター「ほっぷ」の方に見に来ていただき、助言をもらいたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		課外活動等で外出した際に、同じ空間で地域のこどもと活動を行なう機会を作っている。	情報収集をし、積極的に地域の活動に参加して、地域のこどもの交流を深めていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○	必要に応じ、積極的に参加していく。	必要に応じ、積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		サービス提供記録や送迎時、面談時に共通理解を図っている。	併用している他事業所にも情報を共有し、統一した支援を行えるようにしていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		相談等あればその都度対応しているが、こちらからの情報提供等も検討していく。	今年度はスタッフもペアレントトレーニングの研修に参加している。引き続き継続していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に保護者と読み合わせをして共通認識を計っている。	支援プログラムは玄関にも掲示して、職員も保護者も確認できるようにしていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童にも聞き取りをしたり、面談時に保護者から聞き取りをしている。	意思決定支援の研修に参加して、質の高い意思決定支援ができるように努めていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者に説明、同意をもらっている。	今後も丁寧な説明を実施し、同意を得たうえで支援にあたりたい。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談時や送迎時に相談や情報提供等を行っている。	変化があれば、適宜面談や話を聞く機会を作り、不安や悩みの解消に努めていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	保護者参加イベントは開催予定だが、保護者会やきょうだい同士で交流する場は設けられていない。	時期を見て開催していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった際には迅速に対応できる体制を整えている。	誤解を招かないように接遇研修等に積極的に参加し支援の質向上に努めたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		玄関に活動時の写真を掲示して情報発信をしている。	HUG（オンラインシステム）の活動記録にも掲載し、情報発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員全員個人情報保護に関する誓約書を交わし、業務にあたっている。	今後も個人情報の取り扱いには注意する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援ツールを用いたり、スケジュールを提示して支援を行っている。	HUGでの連絡や活動記録等を用いて丁寧に情報伝達を行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		イベントや日々の活動で地域の方と交流が増えてきている。	地域のイベントに参加しているので、時期を見て事業所が主催のイベントに地域の方に参加してもらう機会を作る。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約時に保護者と読み合わせをして共通認識を図っている。	訓練の様子を掲示して、情報を発信していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		マニュアルに沿って避難訓練を毎月実施している。	訓練の様子を掲示して、情報を発信していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に聞き取りをしたり、途中で発出した場合には、情報共有を行っている。	今後も保護者からの情報提供を職員間で共有し必要な対応を取っていきたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在医師の指示書に基づく食物アレルギーの利用児童は利用がないが、いた場合には指示書に基づく対応をする。	調理活動時のアレルギー食物の取り扱いについて知識が足りないため、職員全員で深めていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画をもとに避難訓練や研修を実施している。	玄関に掲示し、保護者の方が閲覧できる状態にしておく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に保護者に説明をしたり、訓練の日時を玄関に掲示している。	HUG（オンラインシステム）のサービス提供記録や活動記録にも掲載して、周知を徹底していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを共有し、事故に繋がらないよう施設内の環境を適宜見直している。	児童にも危険だったことを共有し、職員と利用児全体で安全意識を高めていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年1回以上虐待防止の研修を受講している。	県や市が主催の虐待防止研修に来年度も参加して虐待を防止していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在身体拘束を行っている児童はいないが、実施する場合は職員全員で話し合い、相談員、保護者に十分に説明をした上でサービス計画に記載する。	県や市が主催の虐待防止研修に来年度も参加して身体拘束の適正化について理解を含め、最善な支援を提供していく。	